



## 平成20年3月期 第1四半期 財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 富士重工業株式会社

上場取引所 東証一部

コード番号 7270

URL <http://www.fhi.co.jp/ir/>

代表者 代表取締役社長 森 郁夫

問合せ先責任者 総務部長 坂本 和人

TEL (03) 3347-2005

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益 [損失]	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	318,232	△3.4	3,510	△67.4	627	△93.5	△332	—
19年3月期第1四半期	329,534	9.9	10,768	834.7	9,645	—	4,598	—
19年3月期	1,494,817	—	47,906	—	42,215	—	31,899	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益 [損失]	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 [損失]
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△0.46	—
19年3月期第1四半期	6.42	6.41
19年3月期	44.46	44.44

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,313,918	493,840	37.5	686.19
平成19年3月期	1,316,041	495,703	37.5	687.81

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ～ 平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	690,000	△1.2	10,000	△44.8	5,000	△64.0	0	△100.0	0
通期	1,550,000	3.7	35,000	△26.9	30,000	△28.9	16,000	△49.8	22.28

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
法人税等の計上基準において、簡便な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高は、自動車事業部門において、新型乗用車「インプレッサ」を平成19年6月に発売したものの、当期への貢献は少なく、国内及び海外ともに売上台数が減少した結果、3,182億円と前年同期に比べ113億円(3.4%)の減収となりました。

利益面につきましては、円安による為替レート差に加え、原価低減や諸経費の削減等に努めたものの、自動車事業部門における売上構成の悪化をカバーできず、営業利益は35億円と前年同期に比べ73億円(67.4%)の減益となり、経常利益につきましても6億円と前年同期に比べ90億円(93.5%)の減益となりました。当期純利益につきましては、3億円の損失(前年同期は46億円の利益)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産につきましては、13,139億円と前期末に比べ21億円の減少となりました。

負債につきましては、8,201億円と前期末に比べ3億円の減少となりました。

純資産につきましては、4,938億円と前期末に比べ19億円の減少となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、中間期において、自動車事業部門における売上構成の悪化があるものの、第1四半期に引き続き円安による為替レート差が見込まれるため、予想売上高は当初予想通りとしますが、予想営業利益は100億円、予想経常利益は50億円と当初予想に対しそれぞれ50億円、40億円引き上げます。

一方、通期につきましては、中間期の見通しを踏まえながらも、自動車事業部門において国内市場の低迷により、国内販売を見通すことが難しいことに加え、為替や原材料価格の動向も不透明なため、前回発表値と同額を予想しております。

なお、平成19年4月27日の決算短信で発表しました中間期の業績予想との差異は以下の通りです。

(中間期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 690,000	百万円 5,000	百万円 1,000	百万円 0	円 銭 0
今回修正予想(B)	690,000	10,000	5,000	0	0
増減額(B-A)	—	5,000	4,000	—	—
増減率(%)	—	100.0	400.0	—	—
前中間期実績	698,676	18,126	13,883	11,604	16.19

上記の業績予想の算出の前提条件となる為替レートは、120.00円/US\$としております。

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前 期 末	当四半期末	増 減	
	平成19年3月31日	平成19年6月30日	金 額	増減率
	金 額	金 額	金 額	
<b>〔資産の部〕</b>				
<b>I 流動資産</b>				
現金及び預金	52,406	35,762	△16,644	
受取手形及び売掛金	99,290	88,796	△10,494	
有価証券	32,017	26,737	△5,280	
たな卸資産	224,919	245,928	21,009	
繰延税金資産	27,072	29,092	2,020	
短期貸付金	101,184	116,434	15,250	
その他の	59,501	51,886	△7,615	
貸倒引当金	△1,713	△1,644	69	
<b>流動資産合計</b>	<b>594,676</b>	<b>592,991</b>	<b>△1,685</b>	<b>△0.3</b>
<b>II 固定資産</b>				
<b>1. 有形固定資産</b>				
建物及び構築物	129,280	128,928	△352	
機械装置及び運搬具	122,828	124,053	1,225	
土地	174,835	175,821	986	
建設仮勘定	18,335	15,304	△3,031	
リース資産	59,896	60,596	700	
その他の	45,410	41,619	△3,791	
<b>有形固定資産合計</b>	<b>550,584</b>	<b>546,321</b>	<b>△4,263</b>	<b>△0.8</b>
<b>2. 無形固定資産</b>				
のれん	19,092	19,324	232	
その他の	16,100	15,839	△261	
<b>無形固定資産合計</b>	<b>35,192</b>	<b>35,163</b>	<b>△29</b>	<b>△0.1</b>
<b>3. 投資その他の資産</b>				
投資有価証券	85,819	89,970	4,151	
長期貸付金	3,696	3,696	0	
繰延税金資産	20,825	20,587	△238	
その他の	28,472	28,587	115	
貸倒引当金	△3,223	△3,397	△174	
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>135,589</b>	<b>139,443</b>	<b>3,854</b>	<b>2.8</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>721,365</b>	<b>720,927</b>	<b>△438</b>	<b>△0.1</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,316,041</b>	<b>1,313,918</b>	<b>△2,123</b>	<b>△0.2</b>

(単位：百万円、%)

科 目	前 期 末	当四半期末	増 減	
	平成19年3月31日	平成19年6月30日	金 額	増減率
<b>〔負債の部〕</b>				
<b>I 流動負債</b>				
支払手形及び買掛金	190,394	170,941	△19,453	
短期借入金	172,454	175,031	2,577	
コマーシャルペーパー	11,000	17,000	6,000	
一年内償還社債	10,000	10,000	—	
未払法人税等	4,572	4,640	68	
未払費用	55,789	50,366	△5,423	
賞与引当金	15,247	23,041	7,794	
製品保証引当金	23,934	23,491	△443	
その他の	80,277	90,554	10,277	
<b>流動負債合計</b>	<b>563,667</b>	<b>565,064</b>	<b>1,397</b>	<b>0.2</b>
<b>II 固定負債</b>				
社債	90,000	90,000	—	
長期借入金	60,400	57,181	△3,219	
土地再評価に係る繰延税金負債	703	—	△703	
退職給付引当金	45,516	45,704	188	
役員退職慰労引当金	987	669	△318	
債務保証損失引当金	745	745	—	
負ののれん	821	769	△52	
その他の	57,499	59,946	2,447	
<b>固定負債合計</b>	<b>256,671</b>	<b>255,014</b>	<b>△1,657</b>	<b>△0.6</b>
<b>負債合計</b>	<b>820,338</b>	<b>820,078</b>	<b>△260</b>	<b>0.0</b>
<b>〔純資産の部〕</b>				
<b>I 株主資本</b>				
資本金	153,795	153,795	—	
資本剰余金	160,104	160,101	△3	
利益剰余金	214,831	211,668	△3,163	
自己株式	△40,511	△40,504	7	
<b>株主資本合計</b>	<b>488,219</b>	<b>485,060</b>	<b>△3,159</b>	<b>△0.6</b>
<b>II 評価・換算差額等</b>				
その他有価証券評価差額金	22,182	25,607	3,425	
土地再評価差額金	290	—	△290	
為替換算調整勘定	△16,687	△17,821	△1,134	
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>5,785</b>	<b>7,786</b>	<b>2,001</b>	<b>34.6</b>
<b>III 少数株主持分</b>	<b>1,699</b>	<b>994</b>	<b>△705</b>	<b>△41.5</b>
<b>純資産合計</b>	<b>495,703</b>	<b>493,840</b>	<b>△1,863</b>	<b>△0.4</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,316,041</b>	<b>1,313,918</b>	<b>△2,123</b>	<b>△0.2</b>

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	金 額	増減率	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
	金 額	金 額	金 額		金 額
I 売上高	329,534	318,232	△11,302	△3.4	1,494,817
II 売上原価	247,044	243,266	△3,778	△1.5	1,142,674
売上総利益	82,490	74,966	△7,524	△9.1	352,143
III 販売費及び一般管理費	71,722	71,456	△266	△0.4	304,237
営業利益	10,768	3,510	△7,258	△67.4	47,906
IV 営業外収益					
受取利息及び配当金	1,027	1,283	256		3,864
負ののれん償却額	544	—	△544		2,175
為替差益	—	345	345		—
デリバティブ評価益	1,634	—	△1,634		4,268
持分法による投資利益	—	394	394		1,549
その他	1,132	1,287	155		5,949
営業外収益合計	4,337	3,309	△1,028	△23.7	17,805
V 営業外費用					
支払利息	945	1,066	121		4,017
為替差損	—	—	—		11,906
デリバティブ評価損	565	4,300	3,735		72
その他	3,950	826	△3,124		7,501
営業外費用合計	5,460	6,192	732	13.4	23,496
経常利益	9,645	627	△9,018	△93.5	42,215
VI 特別利益					
固定資産売却益	49	84	35		6,673
投資有価証券等売却益	—	1,397	1,397		58
前期損益修正益	—	—	—		1,451
厚生年金基金代行返上益	—	—	—		2,423
その他	—	83	83		104
特別利益合計	49	1,564	1,515	—	10,709
VII 特別損失					
固定資産売却・除却損	332	288	△44		4,774
投資有価証券等売却損	—	—	—		18
投資有価証券等評価損	—	—	—		335
減損損失	—	—	—		550
債務保証損失引当金繰入額	—	—	—		745
関係会社整理損	—	—	—		913
特別損失合計	332	288	△44	△13.3	7,335
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,362	1,903	△7,459	△79.7	45,589
法人税等	4,769	2,253	△2,516	△52.8	13,642
少数株主利益	—	—	—	—	(減算) 48
少数株主損失	(加算) 5	(加算) 18	13	260.0	—
四半期(当期)純利益〔損失〕	4,598	△332	△4,930	—	31,899

前年同四半期の持分法による投資利益は、営業外収益の「その他 1,132 百万円」に 345 百万円含まれております。

前年同四半期の為替差損は、営業外費用の「その他 3,950 百万円」に 3,148 百万円含まれております。

## (3) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	自動車	産業機器	航空宇宙	その他	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	286,227	11,129	18,810	2,066	318,232	—	318,232
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	768	3	1	1,577	2,349	△ 2,349	—
計	286,995	11,132	18,811	3,643	320,581	△ 2,349	318,232
営業費用	286,866	10,831	16,588	3,414	317,699	△ 2,977	314,722
営業利益	129	301	2,223	229	2,882	628	3,510

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	自動車	産業機器	航空宇宙	その他	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	297,672	13,116	16,347	2,399	329,534	—	329,534
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	700	4	6	620	1,330	△ 1,330	—
計	298,372	13,120	16,353	3,019	330,864	△ 1,330	329,534
営業費用	291,002	12,492	14,327	2,473	320,294	△ 1,528	318,766
営業利益	7,370	628	2,026	546	10,570	198	10,768

## [所在地別セグメント情報]

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	その他	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	183,832	121,575	12,825	318,232	—	318,232
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	65,494	3,889	91	69,474	△ 69,474	—
計	249,326	125,464	12,916	387,706	△ 69,474	318,232
営業費用	240,500	130,103	12,769	383,372	△ 68,650	314,722
営業利益	8,826	△ 4,639	147	4,334	△ 824	3,510

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	その他	計	消去又は 全社	連結
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	192,892	132,791	3,851	329,534	—	329,534
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,876	647	69	63,592	△ 63,592	—
計	255,768	133,438	3,920	393,126	△ 63,592	329,534
営業費用	244,355	134,325	3,781	382,461	△ 63,695	318,766
営業利益	11,413	△ 887	139	10,665	103	10,768

## [海外売上高]

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) (単位:百万円)

	北 米	欧 州	そ の 他	計
海外売上高	132,618	34,477	38,769	205,864
連結売上高				318,232
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	41.7 %	10.8 %	12.2 %	64.7 %

前年同四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) (単位:百万円)

	北 米	欧 州	そ の 他	計
海外売上高	144,070	30,893	33,239	208,202
連結売上高				329,534
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	43.7 %	9.4 %	10.1 %	63.2 %

## 平成20年3月期 第1四半期決算 参考資料

(連結)

	前期実績 平成19年3月期 第1四半期 (H18.4.1~H18.6.30)	当期実績 平成20年3月期 第1四半期 (H19.4.1~H19.6.30)	当期予想 平成20年3月期 中間期 (H19.4.1~H19.9.30)	当期予想 平成20年3月期 通期 (H19.4.1~H20.3.31)
売上高	3,295 億円	3,182 億円 ( 3.4 )	6,900 億円 ( 1.2 )	15,500 億円 ( 3.7 )
国内	1,213 億円	1,124 億円 ( 7.4 )	2,600 億円 ( 9.2 )	5,600 億円 ( 2.8 )
海外	2,082 億円	2,059 億円 ( 1.1 )	4,300 億円 ( 4.3 )	9,900 億円 ( 7.8 )
営業利益	108 億円	35 億円 ( 67.4 )	100 億円 ( 44.8 )	350 億円 ( 26.9 )
利益率	3.3	1.1	1.4	2.3
経常利益	96 億円	6 億円 ( 93.5 )	50 億円 ( 64.0 )	300 億円 ( 28.9 )
利益率	2.9	0.2	0.7	1.9
当期純利益	46 億円	3 億円 ( )	0 億円 ( )	160 億円 ( 49.8 )
利益率	1.4			1.0
増減要因 (営業利益)		(増益要因) 原価低減 26億円 為替レート差 24億円 諸経費等の減 18億円  (減益要因) 売上構成差等 138億円 試験研究費の増 3億円	(増益要因) 為替レート差 63億円 原価低減 30億円 諸経費等の減 27億円  (減益要因) 売上構成差等 182億円 試験研究費の増 19億円	(増益要因) 原価低減 53億円 為替レート差 14億円  (減益要因) 諸経費等の増 118億円 試験研究費の増 53億円 売上構成差等 25億円
為替レート	115円 / US \$	119円 / US \$	120円 / US\$	118円 / US\$
設備投資	87億円	104億円	210億円	600 億円
減価償却費	146億円	148億円	310億円	640 億円
試験研究費	111億円	114億円	270億円	560 億円
有利子負債残高	3,835億円	3,492億円	3,390億円	3,290 億円
業績評価		減収、当期純利益減益	3期ぶりの減収 3期ぶりの当期純利益減益	7期連続の増収 2期ぶりの当期純利益減益 売上高過去最高
国内売上 (内訳)	45 千台	44 千台 ( 2.1 )	106 千台 ( 4.9 )	218 千台 ( 3.9 )
登録車	16 千台	14 千台 ( 9.9 )	41 千台 ( 2.9 )	89 千台 ( 10.0 )
軽自動車	29 千台	30 千台 ( 2.2 )	65 千台 ( 9.2 )	129 千台 ( 11.7 )
海外売上 (内訳)	79 千台	75 千台 ( 4.3 )	166 千台 ( 6.0 )	366 千台 ( 4.2 )
北米	47 千台	40 千台 ( 13.6 )	91 千台 ( 1.9 )	215 千台 ( 4.1 )
欧州	16 千台	15 千台 ( 2.5 )	37 千台 ( 15.6 )	80 千台 ( 11.5 )
その他	17 千台	20 千台 ( 20.2 )	38 千台 ( 7.4 )	71 千台 ( 2.8 )
完成車合計	124 千台	120 千台 ( 3.5 )	273 千台 ( 1.4 )	584 千台 ( 1.0 )

注1. ( ) は、対前年同期増減率

注2. 金額：億円(億円未満を四捨五入)、台数：千台(百台以下を四捨五入)、比率：%(小数点第2位を四捨五入)

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販売会社の小売台数、海外連結対象販売統括会社の卸売台数、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷台数などの合計値

注4. 為替レートは富士重工業単独売上レート

2007年7月31日

## 富士重工業 2007年度第1四半期業績の概要

### <2007年度第1四半期業績：連結売上高>

スバルの国内市場は、軽乗用車ステラが拡販に寄与したものの、登録車需要の長引く不振の影響などにより既存車種が落ち込み、販売台数は前年同期比 97.9%、44,187 台にとどまった。一方、海外市場では、カナダやロシア、中国など販売が伸びた地域もあるものの、主要市場の米国で大きく販売台数を減らしたことが響き、海外合計では同 95.7%の 75,474 台となった。

国内、海外を合わせた自動車部門の売上が、上記のような販売台数の減少に加え車種構成の悪化などの要因で前年を下回り、為替レート差やボーイング向けが好調な航空宇宙カンパニーの増収ではカバーできず、全体では前年度から 113 億円減収となる 3,182 億円の売上となった。

### <2007年度第1四半期業績：連結損益>

営業利益は、スバルの日米での販売不調、新型車開発にともなう試験研究費の増加、原材料の高騰などの減益要因が大きく、原価低減努力、為替レート差、諸経費の削減を加味しても、35 億円と前年同期を大幅に下回る実績となった。

また、経常利益は為替の影響などで 6 億円にとどまり、当期純損失は 3 億円となった。

### <2007年度業績予想>

国内の自動車需要は低迷が続いており、スバルは新型インプレッサが好評を博しているものの、全体としては期初の目標販売台数の達成は楽観視できず、また、海外でも主力の米国市場での見通しが不透明な状況である。加えて、原材料の高騰など収益悪化を招く外部環境の変化も予想を難しくしている。

こうした中、中間期においては、売上高、当期純利益については変更しないが、期初の計画に対し為替の円安傾向が続いていることを考慮し、営業利益の予想を 50 億円引き上げ 100 億円に、経常利益を 40 億円引き上げ 50 億円に、それぞれ上方修正する。

通期においては、中間期の見通しを踏まえながらもスバルの販売動向などのリスクを鑑み、4 月に公表した予想値を変更せず、達成に向け取り組んでいく。

通期連結決算予想：売上高 1 兆 5,500 億円、営業利益 350 億円、経常利益 300 億円、当期純利益 160 億円